

# 佐賀市環境マネジメントシステム実績報告書

(平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月)

がまとまりましたので、ご紹介します。

(※交通局・水道局・幼稚園については平成 14 年 10 月～平成 15 年 3 月)

## 1. 実績結果

二酸化炭素排出を、387,570kg 削減しました。

経費削減効果 1500 万円を超えました。

佐賀市は、平成 14 年 3 月 1 日に佐賀県の自治体ではじめて ISO14001 を認証取得し、積極的に環境保全活動を継続しています。

### ◎オフィス活動の実績について

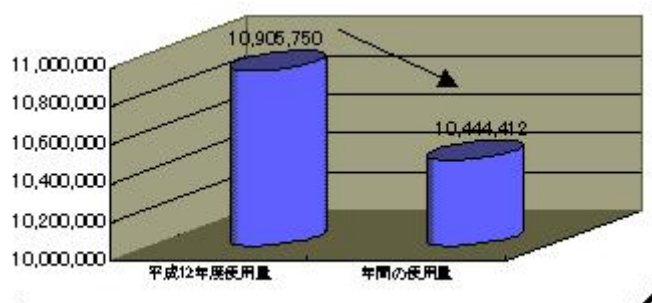
市役所は、多くの職員をかかえる事業者として、環境への負荷は大きいことから、市民、事業者に率先して環境に配慮した活動を推進していく必要があります。このため、地球環境の保全(省エネルギーの徹底)、資源循環型社会の構築(グリーン購入の推進)などに向けた環境保全活動を進めています。

市の環境目的は、平成 12 年度を基準として平成 17 年度までの各年度の削減目標を設定しています。今回の報告は、平成 14 年度(平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月)1 年間の運用実績を平成 12 年度の数値と比較して削減効果を算出しています。(※交通局・水道局・幼稚園については平成 14 年 10 月～平成 15 年 3 月)

下記の年間使用量は、平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月までの実績です。  
(※交通局・水道局・幼稚園については平成 14 年 10 月～平成 15 年 3 月)

### (1) 電気の使用量 4.2%削減

	平成 12 年使用量	年間の使用量	達成削減率	削減量	削減金額
電気使用量(キロワットアワー)	10,905,750	10,444,412	4.23%	461,338	7,173,806 円



【環境保全活動】

- ・空調の運転時期、運転時間、場所を適正に管理する。
- ・不使用電気機器の電源をこまめに切る。
- ・空調設備のメンテナンスを定期的に行う。
- ・エレベーター使用を抑制する。
- ・昼休みは消灯する。

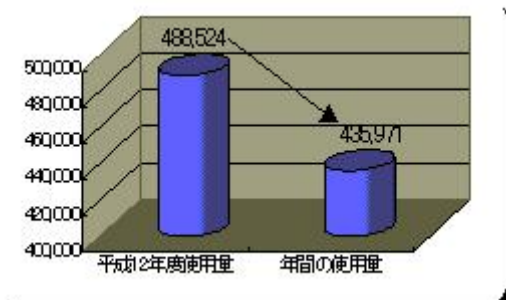
◎施設ごとの電気使用量

■電気

		本庁舎	ほほえみ館	下水浄化センター	図書館・青年の家	交通局	水道局(庁舎)	水道局(浄水場)	合計
基準使用量 (キロワットアワー)		1,840,080	423,282	5,389,700	966,176	51,066	143,172	2,092,274	10,905,750
計画	平成14年度の目標量 (キロワットアワー)	1,582,469	406,352	6,149,599	946,046	50,300	142,170	2,138,303	11,415,239
	目標削減率	14.0%	4.0%	-14.1%	2.1%	1.5%	0.7%	-2.2%	-4.7%
実績	年間の使用量 (キロワットアワー)	1,410,864	411,972	5,367,118	891,342	44,427	141,596	2,177,093	10,444,412
	達成削減率	23.3%	2.7%	0.4%	7.7%	13.0%	1.1%	-4.1%	4.2%

(2) 都市ガスの使用量 10.8%削減

	平成12年度使用量	年間の使用量	達成削減率	削減量	削減金額
都市ガス	488,524 立方メートル	435,971 立方メートル	10.8%	52,553 立方メートル	1,868,259 円



【環境保全活動】

- ・空調の運転時期、運転時間、場所を適正に管理する。
- ・給湯の適正管理
- ・冷温水発生器、風呂給油ボイラーのメンテナンスを定期的に行う。

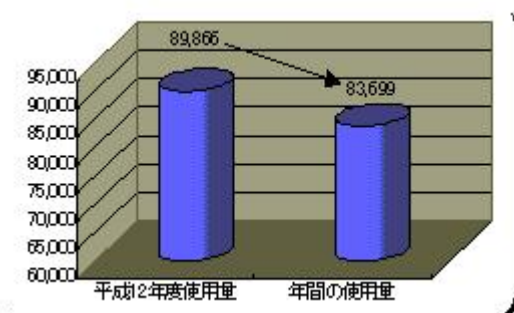
◎施設ごとの都市ガス使用量

■都市ガス

	本庁舎	ほほえみ館	青年の家	交通局	水道局	合計	
基準使用量(立方メートル)	318,319.0	123,924.0	24,768.0	2,386.0	19,127.0	488,524	
計 画	平成 14 年度の目標量 (キロワットアワー)	292,859.0	118,968.0	23,034.0	2,350.0	19,070.0	456,281
	目標削減率	8.0%	4.0%	7.0%	1.5%	0.3%	6.6%
実 績	年間の使用量 (立方メートル)	273,690.0	114,138.0	25,091.0	3,288.0	19,764.0	435,971
	達成削減率	14.0%	7.9%	-1.3%	-37.8%	-3.3%	10.8%

(3) ガソリンの使用量 6.9%削減

	平成 12 年度使用量	年間の使用量	達成削減率	削減量	削減金額
ガソリン	89,866 リットル	83,699 リットル	6.9%	6,167 リットル	608,071 円



【環境保全活動】

- ・近距離は庁用自動車を利用しない。
- ・相乗りに努める。
- ・公共交通機関を利用する。
- ・アイドリングストップを励行する。
- ・エコアクションデーは、マイカー使用を自粛する。

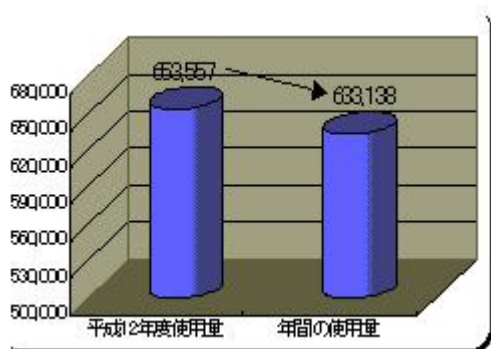
◎部局ごとのガソリン使用削減量

■ガソリン(公用車燃料使用量)

		総務部	産業部	建築部	環境下水道部	保健福祉部	各種委員会	教育委員会	交通局	水道局	合計
基準使用量		36,903.0 リットル	975.3 リットル	15,117.0 リットル	13,964.0 リットル	6,465.3 リットル	1,890.0 リットル	2,619.0 リットル	2,575.8 リットル	10,356.0 リットル	89,866.3 リットル
計画	平成14年度の目標量	35,185.0 リットル	955.8 リットル	14,510.0 リットル	13,675.0 リットル	6,271.3 リットル	1,776.0 リットル	2,565.9 リットル	2,550.0 リットル	10,201.0 リットル	87,690.1 リットル
	目標削減率	2.0%	2.0%	4.0%	2.1%	3.0%	6.0%	2.0%	1.0%	1.5%	2.4%
実績	年間の使用量	35,947.0 リットル	890.0 リットル	13,248.9 リットル	12,642.0 リットル	5,821.9 リットル	2,064.0 リットル	1,638.9 リットル	2,127.0 リットル	9,319.5 リットル	83,699.3 リットル
	達成削減率	-0.1%	8.7%	12.4%	9.5%	10.0%	-9.2%	37.4%	17.4%	10.0%	6.9%

(4) 職場排出物の排出量 14.7%削減

	平成12年度排出量	年間の排出量	達成削減率	削減量	削減金額
職場排出物ゴミ	68,794kg	58,667kg	14.7%	10,127kg	494,001円

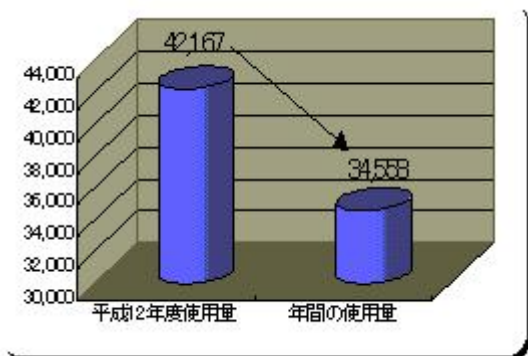


【環境保全活動】

- ・個人ゴミ箱を廃止し、分別ボックスを設置する。
- ・両面コピーを徹底する。
- ・個人で買った物品から出るゴミは持ち帰る。
- ・コピー用紙、雑誌類はリサイクル古紙として分別する。
- ・飲料水、フィルム等の空容器は、販売店に回収を依頼する。

## (5) 水道の使用量 18%削減

	平成 12 年度使用量	年間の使用量	達成削減率	削減量	削減金額
水道使用量	42,167 立方メートル	34,558 立方メートル	18.0%	7,609 立方メートル	2,472,925 円



### 【環境保全活動】

- ・水道水圧の適正調整
- ・節水コマの設置
- ・日常の節水励行

### ◎施設ごとの水道使用量削減

#### ■水道使用量

		ほほえみ館	図書館	交通局	水道局	合計
基準使用量(立方メートル)		11,850	5,099	2,241	1,485	20,675
計 画	平成 14 年の目標量 (立方メートル)	11,376	4,997	2,230	1,481	20,084
	目標削減率	4.0%	2.0%	0.5%	0.3%	2.9%
実 績	年間の使用量 (立方メートル)	10,720	4,126	2,052	1,516	18,414
	達成削減率	9.5%	19.1%	8.4%	-2.1%	10.9%

## (6) その他の削減効果

	平成 12 年度使用量	年間の使用量	達成削減率	削減量	削減金額
軽油	653,557 リットル	633,138 リットル	3.1%	20,419 リットル	1,576,378 円
LP ガス	115 立方メートル	88 立方メートル	23.1%	26 立方メートル	939 円
灯油	19,062 リットル	14,387 リットル	24.5%	4,675 リットル	360,910 円
コピー用紙	7,205,248 枚	5,351,606 枚	25.7%	1,853,642 枚	1,668,278 円
計	上記すべての経費削減合計金額				16,223,566 円

上記削減金額の合計 **16,223,566 円**

(注) 上記以外にも、消耗品(ボールペン等)の購入抑制等による経費削減効果はありますが、過去の数値(購入金額等)がないため、削減効果に含めていません。

## 2. 地球温暖化対策

地球を取り巻く環境に生じている問題は、色々ありますが、とりわけ地球温暖化の問題は、もっとも深刻で根深い問題です。国及び地方公共団体では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、温室効果ガスの排出抑制に努めなければならないとされています。

ISO14001 は、電気使用量、燃料使用量、ごみの排出量などを減らす取組みから、温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、HFC、六フッ化硫黄)の排出量低減に寄与しています。

### 排出量算定方法

(各温室効果ガス排出量) =  $\Sigma\{(\text{活動量}) \times (\text{排出係数})\}$

\* 活動量は、電気使用量、燃料使用量、自動車走行距離 など

(温室効果ガス総排出量) =  $\Sigma\{(\text{各温室効果ガス排出量}) \times (\text{地球温暖化係数})\}$

\* 地球温暖化係数は、二酸化炭素 1、メタン 21、一酸化二窒素 310 など

温室効果ガス削減量 **387,570kg**

以下に、活動ごとの削減量をお示します。(平成14年4月～平成15年3月まで)  
(※交通局・水道局・幼稚園については平成14年10月～平成15年3月)

	削減量	排出係数	CO2削減量
電気使用量	461,338 キロワットアワー	0.357	164,698kg
都市ガス	52,553 立方メートル	2.15	112,989kg
LP ガス	26 立方メートル	6.30	164kg
ガソリン	6,167 リットル	2.31	14,246kg
軽油	20,419 リットル	2.64	53,907kg
灯油	4,675 リットル	2.51	11,734kg
職場排出物ゴミ	10,127kg	2.51	25,419kg
水道使用量	7,609 立方メートル	0.58	4,413kg
計			<b>387,570kg</b>

(注)自動車走行に伴うメタン、一酸化二窒素の排出削減量は、上記計算に含まれていない。